



漁業に影を落とす燃油高騰

経費増や魚価低迷など二重三重の打撃

大津漁協で現状をうかがう

日本共産党市議団は大津漁協を訪問し、原油の高騰で大きな影響を受けている漁業者の実態や行政に対する要望をつかぎました。

同漁協によれば、「燃油が高くなると運送コストが上がるので、仲買いさんが値付けを下げてくる。その分、魚価は逆に安くなる。ヒラメは通常だとキロ当たり3000〜4000円なのに、現在は1000〜1500円と半値以下にしかならない。アンコウも同様に値を下げている」

さらに「燃油が3割から4割高くなっている。沿岸で操業する小型船などは、出漁しても油代にもならないときもある。大型のまき網船などは漁獲高に対して油代が1割を超えると漁業経営はむずかしい」と、きびしい現状が語られました。

また、消耗する漁網が石油製品で、これも値上がりしてお



日本共産党
北茨城市委員会
福原町日田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(新大)
毎週日曜日発行
お問合せは上記へ

り、修繕費用がかさむなど、まさに二重、三重の打撃となっています。

「漁船の燃料には道路税等ほかからないが、それでも燃油は高すぎる。何とか値下げを検討してほしい」と、行政への要望が出され、党市議団は「漁業は農業と同じく国民の食糧を支える国

肝炎検査

隣県は無料なのに茨城県だけ有料

薬害による肝炎患者を救済する議員立法が国会で全会一致で成立しました。政府は先週、平成6年以前にファイブリノゲン製剤の投与を受けた人は、肝炎ウイルスに感染している可能性が高いとして、「C型肝炎ウイルス検査をお受けください」と、政府広報を新聞折込で配布しました。

その広報紙には、「C型肝炎は、早期発見・早期治療が重要としたうえで、受診機関は保健所」で「検査費用は基本的に無料」と大きく書かれています。

これを見たある市民の方が、さっそく受診しようとして日立保健所に電話しました。ところが、「茨城県のばあいは無料でなく自己負

の基幹産業。国会議員や県議員とも連携して、高騰している原油についての対策を講じるよう働きかけていきたい」とこたえました。

なお、昨年「大津港の組合員1人当りの漁獲高は全国4位。また、まき網船の乗組員の多くは東北地方の人である」とのことでした。



新聞折込みで届けられた広報

担が必要です」という保健所の返事にびっくり。共産党市議団に、「どういうことなのか」と怒りの声を寄せてきました。

市議団が県の保険予防課に問い合わせたところ「隣県では無料のところもあるが、茨城県では有料になっている」と答弁。「有料の県

はあるのか」との追及には、「まだ他県の状況は詳しく把握していない」と明言を避けてきました。

しかし独自に関東地方の各県の状況を調査したところ、茨城県以外のすべての県が検査費用は無料となっています。市議団は「茨城県政がいかに住民のいのちや福祉を軽んじているかの表れ。無料で受診できるように力をつくしたい」と述べています。

茨城県の受診の自己負担分はC型肝炎が2060円、B型肝炎が1850円、Cあわせて2690円となっています。他県では、国・県それぞれ2分の1ずつで全額を助成しています。

(2面に関連記事を転載)

中郷町の護岸堤復旧工事へ



中郷町の護岸堤の復旧事業については本紙でもお伝えしてきました。このほど北浜地区の通称「向こう洲か」で、消波ブロックなどをつくるヤードの整備がはじまっています。

ご相談はお気軽に



市議会議員
福田 明
☎43-0468



市議会議員
鈴木康子
☎42-2462

「北茨城民報」はインターネットでご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

いま、Windows Vista(IE7)などなら、試験的に
<http://www.北茨城.jp> でアクセスできます。